

2026年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月12日

上場会社名 初穂商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7425 URL <https://www.hatsuho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 斎藤 悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長

(氏名) 成田 哲人

TEL 052-222-1066

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	8,450	6.5	275	35.1	322	29.4	192	25.4
2025年12月期第1四半期	9,034	1.9	423	1.9	456	1.2	258	5.6

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 244百万円 (15.6%) 2025年12月期第1四半期 290百万円 (5.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	58.43	
2025年12月期第1四半期	78.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	21,269	11,247	47.3
2025年12月期	22,376	11,290	45.1

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 10,053百万円 2025年12月期 10,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年12月期		0.00		77.00	77.00
2026年12月期(予想)		0.00		80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年12月期期末配当金の内訳 普通配当75.00円 創業80周年記念配当2.00円

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,100	5.2	650	11.0	730	1.6	420	6.0	127.40
通期	37,200	5.0	1,330	9.3	1,510	5.2	880	5.8	266.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期1Q	3,480,660 株	2025年12月期	3,480,660 株
期末自己株式数	2026年12月期1Q	180,687 株	2025年12月期	180,687 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期1Q	3,299,973 株	2025年12月期1Q	3,291,682 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかに回復いたしました。一方で、中東情勢による物価や経済への影響に伴う景気後退リスクが強く懸念されるほか、米国の通商政策の影響や中国経済の減退など、先行きが懸念される状況が継続しております。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しております。民間投資におきましては、住宅建設は弱含みで推移し、建設コストの高止まり等により盛り上がり欠ける状況が続いております。非居住用の建築工事費予定額は概ね横ばいとなっているものの、建設現場及び運送業界における深刻な人手不足や、残業時間上限規制等の労働環境改善の流れを受け、建設工事の進行が間延びしており、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、建設セグメントビジネスに特化した建設資材商社として、三本の事業セグメントを柱に多角的かつ安定した、持続可能な成長戦略に取り組んでおります。

住宅市場の冷え込みが長期化する中、非住宅向けの堅調な建設需要の取り込みにより、収益を下支えすることを見込み、既存顧客への販売強化、新規顧客の開拓によるシェア拡大に努めてまいりました。しかしながら、低調な国内建設需要に伴い、非住宅向けにおいても販売量が想定を下回り、全事業セグメントにおいて厳しい状況となりました。また、需要減少に伴う価格競争や、各種コストの上昇が継続した影響により、当社グループの業績は前年同四半期比において減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、84億50百万円（前年同四半期比6.5%減）、営業利益2億75百万円（前年同四半期比35.1%減）、経常利益3億22百万円（前年同四半期比29.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億92百万円（前年同四半期比25.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(内装建材事業)

内装建材事業は、売上高は42億13百万円（前年同四半期比9.8%減）、営業利益は2億13百万円（前年同四半期比29.4%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、国内全体で建設需要が低調であり、荷動きが鈍く物件数も少なかったことから、例年3月まで続く繁忙期間が1ヵ月近く前倒しで落ち着きを見せ、販売が想定以上に低迷した影響により、前年同四半期比において減収減益となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業は、売上高は32億33百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は1億65百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、住宅市場の冷え込みや人件費等のコスト上昇が続く中で、主力取扱メーカーの先行値上げに伴い、一時的な顧客離れが生じた影響により、前年同四半期比において減収減益となりました。

(住環境関連事業)

住環境関連事業は、売上高は10億52百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業利益は47百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、住宅建設市場の低迷が続いており、新設住宅着工戸数及び工事受注の減少の影響により、減収となりましたが、コスト管理の徹底により利益率が改善し、前年同四半期比において減収増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は212億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億7百万円減少いたしました。これは主に、商品が1億3百万円増加し、現金及び預金が5億15百万円、受取手形及び売掛金が6億20百万円、電子記録債権が1億32百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は100億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億63百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億80百万円、電子記録債務が4億35百万円、未払法人税等が1億98百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は112億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて43百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、欧州・中東情勢等の地政学リスクの高まりや石油関連製品のサプライチェーン、米国の通商政策の動向等、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれており、今後の状況の変化により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

[ご参考 2026年度(2026年12月期連結業績見通し)]

	第2四半期(累計)	通 期
売上高	181億円	372億円
営業利益	6億50百万円	13億30百万円
経常利益	7億30百万円	15億10百万円
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	4億20百万円	8億80百万円

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2026年度(2026年12月期)連結業績予想値は、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,599,103	7,083,834
受取手形及び売掛金	※ 5,162,230	※ 4,541,236
電子記録債権	※ 1,934,009	※ 1,801,594
商品	1,233,297	1,336,878
その他	107,216	150,720
貸倒引当金	△5,276	△5,181
流動資産合計	16,030,582	14,909,083
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,505,646	3,505,646
その他(純額)	1,144,863	1,131,425
有形固定資産合計	4,650,510	4,637,072
無形固定資産		
顧客関連資産	215,780	202,294
その他	52,508	50,499
無形固定資産合計	268,288	252,793
投資その他の資産		
その他	1,489,226	1,532,189
貸倒引当金	△61,912	△61,707
投資その他の資産合計	1,427,314	1,470,482
固定資産合計	6,346,113	6,360,348
資産合計	22,376,695	21,269,431
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,540,321	3,159,796
電子記録債務	※ 5,142,080	※ 4,706,495
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	340,867	270,038
未払法人税等	295,137	96,944
賞与引当金	137,130	163,805
その他	686,516	681,107
流動負債合計	10,462,052	9,398,187
固定負債		
長期借入金	196,707	173,376
役員退職慰労引当金	36,235	38,429
その他	391,138	412,361
固定負債合計	624,081	624,166
負債合計	11,086,133	10,022,354

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,344,629	1,344,629
利益剰余金	7,935,315	7,874,028
自己株式	△108,630	△108,630
株主資本合計	10,056,448	9,995,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,073	57,941
その他の包括利益累計額合計	40,073	57,941
非支配株主持分	1,194,040	1,193,973
純資産合計	11,290,561	11,247,076
負債純資産合計	22,376,695	21,269,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	9,034,794	8,450,409
売上原価	7,390,617	6,937,105
売上総利益	1,644,177	1,513,303
販売費及び一般管理費	1,220,218	1,238,158
営業利益	423,958	275,145
営業外収益		
受取利息	2,171	5,172
受取配当金	837	933
仕入割引	36,856	33,617
その他	14,625	9,505
営業外収益合計	54,492	49,228
営業外費用		
支払利息	1,292	1,374
貸貸費用	1,653	568
固定資産除却損	18,750	9
その他	316	171
営業外費用合計	22,012	2,123
経常利益	456,438	322,250
税金等調整前四半期純利益	456,438	322,250
法人税、住民税及び事業税	139,745	88,094
法人税等調整額	24,796	7,241
法人税等合計	164,542	95,336
四半期純利益	291,896	226,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,389	34,103
親会社株主に帰属する四半期純利益	258,506	192,811

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	291,896	226,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,672	17,960
その他の包括利益合計	△1,672	17,960
四半期包括利益	290,224	244,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,904	210,679
非支配株主に係る四半期包括利益	33,320	34,195

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。なお、決算日が連結決算日と異なる連結子会社の当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
受取手形及び売掛金	75,406千円	5,184千円
電子記録債権	166,222	11,953
電子記録債務	753,933	401,163

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	25,452千円	28,186千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	4,671,656	3,253,508	1,109,629	9,034,794
外部顧客への売上高	4,671,656	3,253,508	1,109,629	9,034,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,567	—	35,567
計	4,671,656	3,289,075	1,109,629	9,070,361
セグメント利益	302,416	202,201	45,299	549,917

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	549,917
全社費用(注)	△125,959
四半期連結損益計算書の営業利益	423,958

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	4,213,764	3,183,992	1,052,652	8,450,409
外部顧客への売上高	4,213,764	3,183,992	1,052,652	8,450,409
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	49,709	—	49,709
計	4,213,764	3,233,701	1,052,652	8,500,119
セグメント利益	213,413	165,875	47,885	427,174

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	427,174
全社費用(注)	△152,029
四半期連結損益計算書の営業利益	275,145

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。